

CARRY FREE®

KIDS DESIGN AWARD 2019

抱っこ・おんぶ兼用

首がすわってから36ヶ月まで

コンパクトになる 腰ベルト付きキャリアー



SG (製品安全協会) 認定商品



この製品は一般財団法人
製品安全協会によって
安全性が高いと認証
された抱っこひもです。

収納できる
ポケット付き

安心・安全な日本製

EIGHTEX

モデル
アレクくん (8か月)



おすすめポイント

- ・超軽量&コンパクトなのでセカンドキャリアに最適!
- ・パッド入りのウエストベルトが肩への負担を軽減!
- ・ウエストに付けたまま収納したり、丸ごと収納できる持ち運びに便利なポケット付き!
- ・ブリッジベルト付きなのでショルダーベルトがずれにくく安心!
- ・男女兼用のシンプルなデザイン!
- ・赤ちゃんを待たせず、サッと装着!



くるっと丸めてスピーディーに収納!



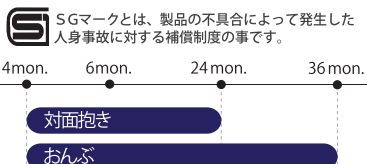
■キャリアフリー コンパクト

- 【材 質】ポリエステル 100%
(静電気の帯電を防止する生地使用)
- 【サイズ】抱っこひも本体: 約 32cm × 42cm
ショルダーベルト: 約 55cm ~ 110cm
ウエストベルト: 約 40cm ~ 127cm
- 【重 量】320g

■適応月齢

- 【対面抱き】
首がすわって(4ヶ月) ~ 24ヶ月 (13kg) まで
- 【おんぶ】
首がすわって(4ヶ月) ~ 36ヶ月 (15kg) まで

SGマーク制度の適用月齢表



対面抱き: 首がすわって(4ヶ月)~24ヶ月(13kg)まで
おんぶ: 首がすわって(4ヶ月)~36ヶ月(15kg)まで
※使用月齢は目安です。

製品保証について

材質・部材は十分に選別しておりますが、経時劣化は避けられません。使用頻度にもよりますが、**使用開始から約3年を耐用年数としてお考えください。**取扱説明書なしで第三者に譲ったり、貸したりしないでください。また、取扱説明書や注意事項を読まずに使用された場合には賠償責任保険が適用されない事もありますのであらかじめご注意ください。

- ・予告なしに多少の仕様が変わる事があります。
- ・製品には万全を期しておりますが、万一異常が認められましたら直接販売店、または下記にご連絡ください。



www.eightex.co.jp
日本エイテックス株式会社
〒102-0082 東京都千代田区一番町15-8
TEL 03-3264-1011



- ※ 外装の素材はポリプロピレンです。お子様が滑ってケガをした、頭や顔にかぶって窒息する恐れがございますので、取り扱いにご注意ください。
- ※ 廃棄のしかた/各地方公共団体の廃棄区分に従って捨ててください。

キャリアフリー コンパクト 取扱説明書

お客様の安全のため、この取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることが出来る所に大切に保管してください。

⚠️ 落下の危険性

- お客様が開口部から落下する恐れがありますので身体を傾ける際はお客様を手で支え、頭が下向きにならないよう膝を曲げてください。
- 調節具は正しく調節し、固定箇所を確実に締めないとお客様が落下する危険がありますのでご注意ください。
- 抱っこやおんぶの際、大きく前かがみになりますとお客様が滑り落ちる可能性がありますのでご注意ください。

⚠️ 窒息の危険性

- お客様の状態に注意をしながら使用し、気道をふさぐことのないようご注意ください。

■装着脱時の注意 製品の着脱は必ず安全な場所で、座った状態（低い体勢）で行ってください。おんぶの際は特にご注意ください。また、介添えていただくより安全です。お客様が落下する恐れがありますので、各部のバックルがしっかりと留められている事を確かめてください。ショルダーベルトが肩から外れやすくなりますので、必ずブリッジベルトを留めてください。セーフティーベルトは安全のため必ずしっかりとお客様の体型に合わせて留めてください。ご使用前に調節具が破損したり、生地や糸にほつれ、やぶれ、傷などがないか点検し、それらが1箇所でも生じた場合はケガや誤飲の恐れがありますので絶対に使用しないでください。また、装着後も調節具やテープに緩みがないかお確かめください。抱っこでの歩行の際はお客様の頭で前方や足下の視界が妨げられないようご注意ください。

■使用上の注意 バックルの開口部にお客様の指や手を入れないようご注意ください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品を使わない時はバックルを留めた状態で、お客様の手の届かないところで保管してください。ベルト先端の三つ折りはほどいたり切り落としたりしないでください。この製品は長いベルトを使用している為、誤ってベルトが巻きつくなど窒息の恐れがありますので、お客様が引っ張ったり、振り回すなどしないよう十分にご確認ください。授乳後30分以内のご使用はお客様のお腹を圧迫するなどの負担をかける恐れがありますのでお控えください。連続して使用する場合はお客様の体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以上のご使用はお控えください。体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じた場合はご使用をおやめください。製品を使用している家事は火傷や怪我を負う可能性がありますので、お客様の安全の為にお控えください。自転車やプランコなどの乗り物に乗ったり、両手の自由を奪われるような動作は絶対におやめください。この製品は部材の一部にナイロン素材を使用しています。

●お手入れ方法

洗濯機、脱水機、乾燥機はバックル破損の原因となりますので使用しないでください。

- ・水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- ・漂白剤・蛍光剤入りの洗剤は移染の恐れがありますので使用しないでください。
- ・色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いはおやめください。

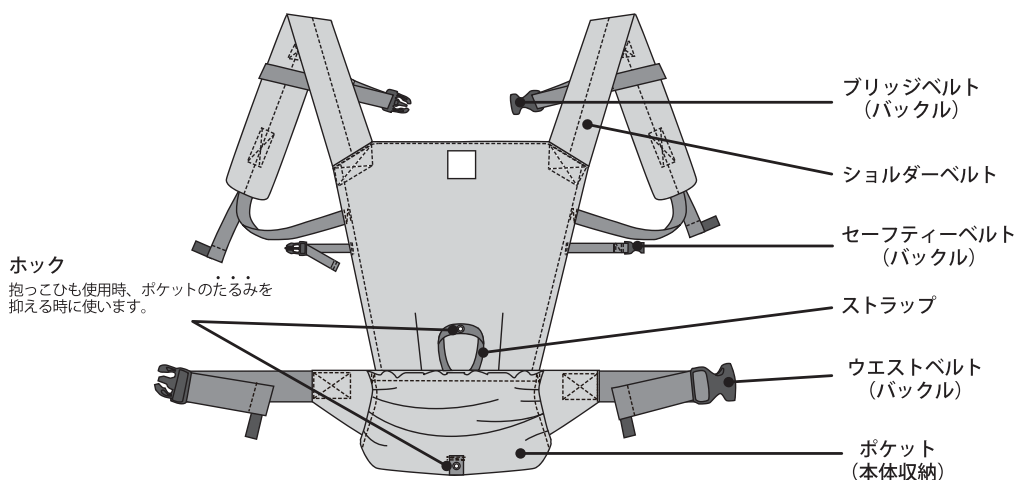
※現在の染色技術では、汗や摩擦による多少の脱色や移染は避けられませんのであらかじめご了承ください。特に、濃色の場合には十分にご注意ください。

●赤ちゃんのために

当社製品に限らず、おんぶや抱っこの場合には股関節脱臼の予防に効果があるとされるコアラ抱き[®]（赤ちゃんの脚がM字に開脚した姿勢）をおすすめしております。当製品も赤ちゃんの股がしっかりと開くように設計されておりますので、無理に脚を下に伸ばした姿勢での使用はおやめください。また、使い始めの製品においては生地の生産過程により多少のゴワツキが生じる場合があります。敏感肌やアレルギー体質の赤ちゃんにはコアラ抱きの際に膝の裏側などに負担[®]をかける場合もありますので、丈の長い服を着せたり、ガーゼなどの柔らかい布を当てるなどのご配慮をお願い致します。

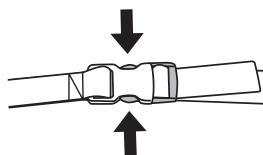
※日本小児整形外科学会（日本小児股関節研究会より）
※赤ちゃんの体型や体調により異なります。

各部の名称

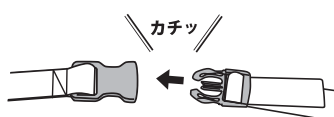


●バックルの操作方法

<バックルを外す時>



<バックルを留める時>

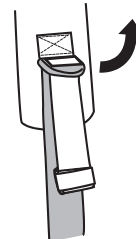


●各ベルトの調節方法

<ベルトを短くする時>
余りテープを平行に引く



<ベルトを長くする時>
調節具を立てる（起こす）



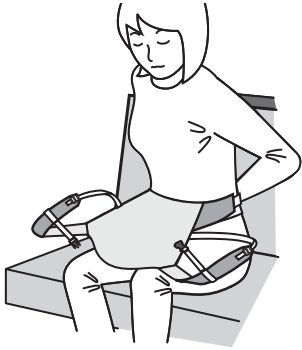
まとめゴム
※余ったテープをまとめます。
まとめない場合もゴムをテープの先端にくくりつけてください。

対面抱きの装着方法

首がすわって(4か月)～24か月(13kg)まで

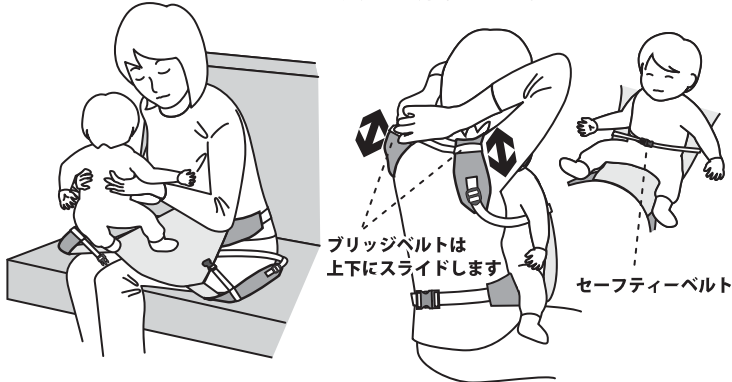
step 1 本体を保護者が装着します。

- 1 イスなどに座り、製品の内側を上にしてひざの上に乗せてウエストベルトを留め、体型に合わせてベルトの長さを調節します。



step 2 お子様を抱っこします。

- 2 お子様を向かい合うように膝の上に抱き（お子様が後ろに倒れないようにご注意ください）ショルダーベルトを腕に通して首の後ろでブリッジベルトを留めます。
 - セーフティーベルトを留め、お子様の体型に合わせて長さを調節します。
- ショルダーベルトの長さを調節します。



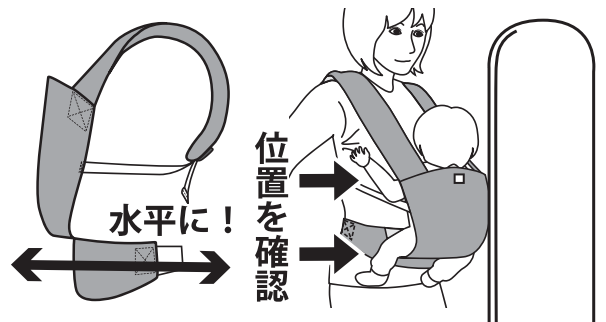
ブリッジベルトは上下にスライドします
セーフティーベルト

対面抱き・おんぶ共通

step 3 ベストポジションをみつけます。

- 3 お子様が密着するようにショルダーベルトの長さを調節します。
- ウエストベルトは水平に巻きつけます。
(お子様が保護者のおへそより上の位置になるように)
- 鏡などでお子様の足が折れ曲がったり、腕や足を出す位置が間違っていないか確認します。

お子様を降ろす際は手順を逆におこなってください



水平に！

位置を確認

対面抱き・おんぶ共通

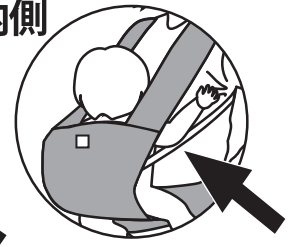
point ! お子様のうでは、ショルダーベルト(本体)の外側に出しても、内側にしまっても使用できます。

※お子様に負担の無いポジションでご使用ください。

外側



内側

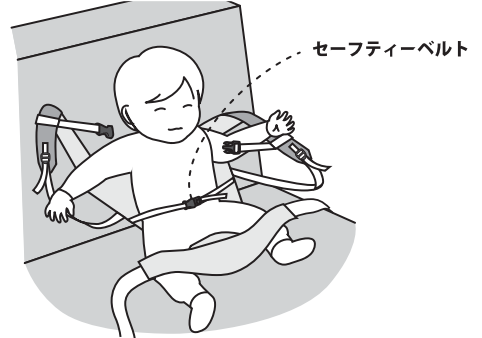


おんぶの装着方法

首がすわって(4か月)～36か月(15kg)まで

step 1 お子様をセットします。

- 1 製品の内側を上にしてイスなどにもたせかけ、ウエストベルトをまたぐようにお子様を上に乗せさせます。
- セーフティーベルトをお子様のお腹の前で留め、体型に合わせてベルトの長さを調節します。



セーフティーベルト

step 2 保護者が装着します。

- 2 お子様を背中に向け、ウエストベルトを留め、体型に合わせてベルトの長さを調節します。
- ショルダーベルトを両肩にかけ、お子様を背中に乗せるように前傾姿勢になります。
- その姿勢のままブリッジベルトを胸の前で留め、ベルトの長さや位置を調節します。



下を向きすぎないように注意！

ブリッジベルトは上下にスライドします。

※必ず低い体勢で行ってください。